

# 議会改革意見交換会実施報告書

開催日時	令和5年5月11日(木) / 19時00分 ~ 20時45分
開催場所	八千代プラザ
出席議員	受付・アンケート回収 (市位裕文) (門脇保文) 司会 (日原茂樹) 報告1 (廣畑幸子) 報告2 (内橋志郎) PC (藤本一昭) 写真 (吉田政義) グループ担当 (市位裕文) (橋尾哲夫) (門脇保文) (藤本一昭) (門脇教蔵) (足立吉継) 挨拶 笹倉政芳議長・門脇教蔵副議長
欠席議員	なし
参加者数	19人
意見交換会意見まとめ	<p><b>1 議員のなり手不足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員は職業ではない。高い志をもったものであり、金銭でははかれない。</li> <li>・議会に関心がない。議員に魅了がないので議員になりたくない。</li> <li>・議員が何をしているか分からない。</li> <li>・議員報酬は安すぎて、兼業しないと生活が維持できない金額である。</li> <li>・若手の意欲ある人も議員報酬が安いので議員になるのをあきらめる。</li> <li>・議員は行政から提案されたものをただ承認しているだけで議員の存在感がない。</li> <li>・昔は議員に出たい人よりも出てほしい人は各地に一人はいた。</li> <li>・議員は町民の声を代弁して確実に行政に届けてほしい。</li> <li>・選挙にでたくても家族等の協力を得ることが難しい。</li> </ul> <p><b>2 議員定数・議員報酬</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数と議員報酬は切り離して考えること。</li> <li>・議員定数は14名から12名。最低議会運営ができないのでは困る。</li> <li>・議員定数を11名に減らし、その浮いた分で報酬を引き上げる。</li> <li>・議員定数14名でよい。減らしたら住民の声が届きにくくなるのではないか。人口減少で減らすだけが能ではない。</li> <li>・議員は予算審査や行政の監視役が仕事一定の人数は必要。</li> <li>・議員定数20人にし、今の報酬では議員にならない。あげればなれるかは別問題。</li> <li>・議員報酬は生活ができる金額に引き上げ活動を活発にし、女性や色々な階層から出られるようにすべきである。</li> <li>・議員報酬21万円では生活が維持できない。市議会に比べ非常に安い。</li> </ul>

手取り25万円程度は必要である。

- ・議員報酬は今の活動状況では、この金額が良い。
- ・今後公務員並みにあるべきではないか。
- ・議員の処遇改善（休暇、休職、年金、手当等の拡大）を図ること。
- ・活動費用として政務調査費を検討すること。

### 3 住民に関心を持ってもらう議会

- ・多可テレビでは本会議だけ放映されているが、各委員会の放映もやるべき。
- ・身近な議員がいない。
- ・各議員さんの活動が見えない。活動状況を教えてほしい。
- ・ホームページでも議事録や動画などで活動を情報発信すること。
- ・一般質問は程度の低い質問や国政に関するものは場違いである。町行政についての問題に関し1事項を深掘してほしい。
- ・議員は集落要望をしてくれるので地元が良くなる。集落で議員を育成する。
- ・議員は積極的に各集落に出向き住民と交流すること。
- ・各集落も住民も議員を頼りにしている。
- ・交流がないことは議員に対する不信感が増幅するのみである。
- ・情報発信を今風にスマホ等住民に発信すること。
- ・瓦版は新聞を購読していない住民もいる。
- ・この場に当然女性の人も参加してほしい。

要望等	
その他 特記事項	

令和5年5月22日

多可町議会議長 笹倉政芳様

報告者 橋尾哲夫